

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯島秀幸
 (J A S D A Q ・ コード 6 8 8 8)
 問合せ先 役職・氏名 執行役員 経営情報管理部長 中川智章
 (電話 0 3 - 3 2 3 9 - 2 3 7 7)

平成 22 年 6 月期 第 2 四半期累計期間(連結・個別)業績の差異に関するお知らせ

平成 22 年 2 月 2 日付で、平成 22 年 6 月期 第 2 四半期決算短信において第 2 四半期累計期間の業績について発表いたしました。当上半期においては、業績の変動要因が大きいことが予想されたため業績予想を行っておりませんでしたので、前年同期との差異をお知らせ致します。

記

1. 平成 22 年 6 月期 前年同期実績との差異

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (連結)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 円 銭
前第 2 四半期 連 結 累 計 期 間 (A)	2,879	△102	△112	△147	△1,467.28
当第 2 四半期 連 結 累 計 期 間 (B)	1,991	△109	△89	△26	△ 271.96
増減額 (B - A)	△888	△6	23	121	—
増 減 率 (%)	△30.8	—	—	—	—

(2) 差異の理由

第 2 四半期連結累計期間における日本経済は、景気刺激策の効果等により改善が期待されておりましたが、欧米向の輸出回復の遅れや円高等の懸念材料もあり、景気回復は本格的なものには至っておりません。情報技術事業及び人材事業を取り巻く事業環境は、企業収益低迷の長期化から開発投資の減少やアウトソーシングコストの抑制により、受注の回復が鈍い状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは営業活動の強化に努めてまいりましたが、需要の減退による影響を受け、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、1,991 百万円、前第 2 四半期連結累計期間(以下、「前期」という。)の売上高 2,879 百万円に対し 888 百万円の減少(前期比 30.8% 減)となりました。営業損失は 109 百万円と前期の営業損失 102 百万円に比べ損失も拡大いたしました。経費の見直しを進めた結果、販管費の総額は 786 百万円(前期は販管費の総額 1,112 百万円、325 百万円の減少)と改善しておりますが、売上の減少による売上総利益の減少をカバ

一するには至っておりません。経常利益につきましては、前期発生した持分法による投資損失がなくなったこと、営業外収入の発生等により前期より23百万円損失が減少しております。四半期純利益につきましては、子会社売却益63百万円の発生等により四半期純損失26百万円（前期は四半期純損失147百万円）となっております。

(3) 第2四半期累計期間（個別）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前第2四半期 累計期間（A）	1,160	△44	△22	△40	△402.70
当第2四半期 累計期間（B）	986	△12	5	78	812.84
増減額（B－A）	△173	32	27	119	—
増 減 率（%）	△15.0	—	—	—	—

(4) 差異の理由

個別の第2四半期累計期間の前期業績との差異につきましては、連結の第2四半期連結累計期間における理由と同様であります。

以 上